

なるほど博士と学ぼう

あなたのおうちは大丈夫？

リフォームで叶える地震に強い家

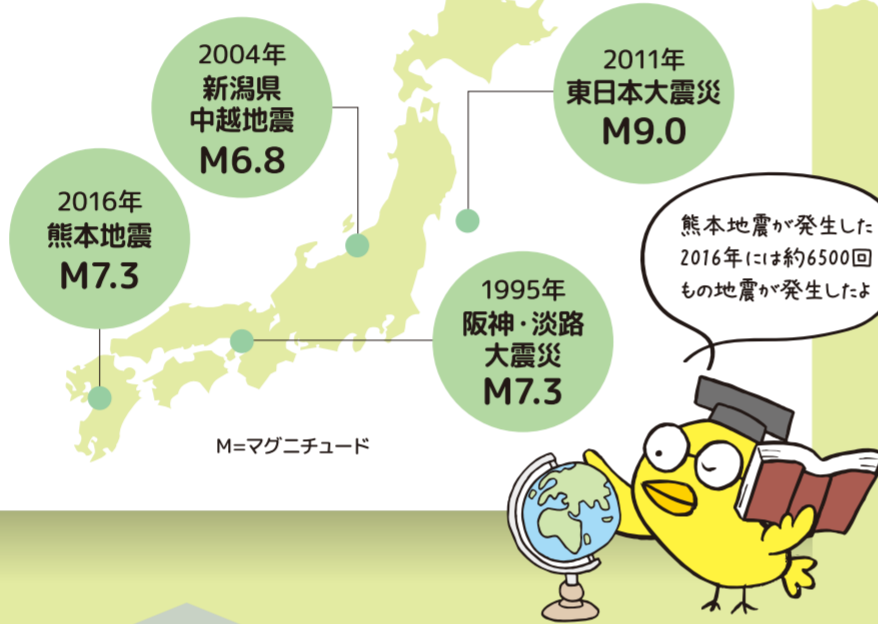
地震に備えて、住まいの耐震性を見直しておきたいもの。住友不動産の「新築そっくりさん」は、1996年のスタート以来施工した16万棟^{※1}のうち、**全壊・半壊した建物はゼロ**^{※2}！地震に強い住まいの秘密を、なるほど博士と探ってみましょう。

※1 2022年9月末時点の「新築そっくりさん」累計受注棟数 ※2 2023年4月時点。住友不動産調べ（所定の耐震補強工事を行わなかった物件、地盤沈下や液状化、津波による流出など一部未確認の物件は含まれません。）

Q1 日本は地震が多い国ってほんと？

A ほんと。年間1000~2000回の地震が発生しているよ！

地震は、プレートと呼ばれる地球の表面を覆っている巨大な岩が動くことで発生します。日本は複数のプレートの境界に位置しているため、大地震がいつでも起こってもおかしくありません。日ごろから対策しておくことが大切です。



Q3 どうやったら地震に強い家になる？

A 住まいに適した耐震補強をしよう！

今ある住まいの強み・弱みや特徴を把握し、適切な対策を行えば、リフォームでも十分な耐震性を得ることができます。「新築そっくりさん」の場合、住宅の調査・診断を行ったうえで耐震工事を実施するから、住まいに適した耐震補強が可能。より地震に強い家にするためには、耐震に加えて、地震のエネルギーを吸収・分散する「制震」構造も取り入れるのがカギ。揺れを大幅に抑えて建物の損傷を防ぎ、余震や家具転倒などの対策にもなります。

耐震工事のポイント

屋根

金属ルーフ等による屋根の軽量化

瓦屋根などの重い屋根を、素材を変えて軽量化し、耐震性を高めます。

外壁

耐力壁

筋交い、構造用合板、耐震補強金物を用いて、壁を補強します。

屋内

耐力壁

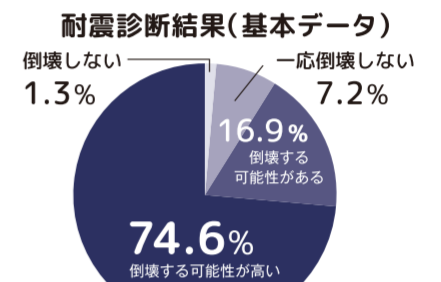
筋交いで補強した壁をデザインとして見せることが可能です。

工事の様子

Q2 我が家は大丈夫か不安なんだけど…

A 特に「いつ建てたか」には要注意！

特に注意したいのは、最新の建築基準が制定された2000年以降の建築かどうか。1950年制定の旧耐震基準では約97%、1981年制定の新耐震基準では約86%に、耐震性に問題がある可能性があります。ただし最新の基準を満たしていても“想定外”は起こりえます。知識や耐震設備を上手にアップデートしながら、より安心できる住まいを目指しましょう。



※日本住宅耐震補強事業者協同組合2021年調べ 1950年~2000年5月までに着工された木造在来工法2階建て以下の建物

1978年 宮城県沖地震	1995年 阪神・淡路大震災	2011年 東日本大震災
1950年制定	1981年改定	2000年改定~現在
旧耐震基準建物	新耐震基準建物	新・新耐震基準建物
1950年から1980年までに建てられたうち	1981年から2000年5月までに建てられたうち	建築基準法の耐震基準はOK。でもそれだけで安心？
約97%の住宅に耐震性の問題あり	約86%の住宅に耐震性の問題あり	

最新の建築基準は、1995年の阪神・淡路大震災での被害を受けて制定されたんだよ

Q4 災害時のライフラインへの影響が心配…

A 「高断熱リフォーム」と「太陽光パネル」で災害時も安心

「新築そっくりさん」では、1棟まるごとから部屋単位まで、必要にあわせてリーズナブルに高断熱リフォームが可能。寒すぎる家は病気を発症するリスクを高める可能性があるため、早めの断熱対策がおすすめです。

さらに、太陽光パネルと蓄電池を導入できる「すみふ×エネカリ」を活用すれば、冷暖房費を節約できるだけでなく、停電時にも蓄電した電気が使えます。初期費用ゼロ^{*}で導入できて、利用期間中の故障などのトラブルにも、年中無休のサポートがあるから安心。災害に強く、環境にも優しい、一歩先の住まいが叶います。

※本体価格、設置費用はリース代でのお支払いとなります。 ※新築そっくりさん工事の費用の一環として、設備設置にあたり必要となる構造補強などの費用の負担が生じます。



地震に強い家を実現する「新築そっくりさん」の詳細は、webサイトへ。

住友不動産 × 内閣府 コラボレーション実施中



関東大震災から100年である本年、各家庭での「災害への備え」を見直してみませんか？内閣府では、防災意識の向上や災害への備えの促進に向け住友不動産をはじめ民間企業等とコラボレーションを実施中です。



住まいのリフォームなら
住友不動産の新築そっくりさん

お問い合わせはこちらまで。
0120-093-370

ホームページもご覧ください。
新築そっくりさん 検索

